

葛巻高校

県高校総合文化祭郷土芸能部門

最優秀賞 郷土芸能部



創部12年目の快拳



地域に根付いた伝統芸能をしっかりと受け継ぎ、葛巻神楽「権現舞」を堂々と舞って若手県のトップに。葛巻高校郷土芸能部は十月十二日、北上市で開かれた第三十一回若手県高等学校総合文化祭郷土芸能部門で最優秀賞に輝き、来年七月に三重県で開かれる全国大会への切符を手にしました。創部十二年目、葛巻高校としては昭和六十二年に北海道で開催されたインターハイ軟式テニスダブルスに二チームが出場して以来の全国大会出場。魅力ある学校づくりを進める葛巻高校へまた大きな魅力が加わったことで、生徒の自信が深まり、さらなる発展が期待されます。

【出場メンバー】 敬称略

- ◆踊り
 - 觸澤 梢 (1年)
 - 千葉 睦 (2年)
 - 寺畑由紀子 (2年)
 - 山下 純佳 (2年)
 - 千葉 優介 (3年)
 - 吉田 りえ (3年)
- ◆太鼓
 - 橋場 綾 (2年)
- ◆笛
 - 和野 正幸 (3年)
- ◆鐘
 - 土谷 一郎 (1年)
 - 御堂地 舞 (1年)
 - 大石 悠佳 (3年)
- ◆顧問
 - 宮野純子・高屋敷梢



①若さとエネルギーに満ちた「権現舞」を堂々舞う葛巻高郷土芸能部。審査員の神洗文真さんは「太鼓を中心に、よくぞここまで舞いきった。最高の演技とその練習成果からくる自信と態度、全て満点」と大絶賛 ⑥迫力ある舞。権現様と尾っぽの息もぴったり ⑦部員11人と指導者に対し、鈴木重男町長は「町にとってもこの上ない喜び。全国大会には応援に駆けつけます」と激励。感謝の気持ちを込め、役場前で多くの町民に権現舞を披露

躍動感あふれる舞で全国へ

榎山さん 国体・ピストルで2位

榎山 将司さん

30歳・田子出身
盛岡西警察署勤務

発表の瞬間「まさか？」と信じられない気持ちでいっぱいでした。田子出身の三十歳、榎山将司さんは十月四日、大分国体ライフル射撃成年男子センターファイアピストル(PC)で二位に輝きました。この快拳は、昭和六十二年の長野国体クロスカントリーで優勝するなど多く

の活躍を見せた土谷美保子さん(元木)以来のこと。長さ約三十センチ、重さ約一キロの銃を片手で構え二十五メートル先の的を狙うPC。「集中した結果が数字として表れたときの充実感と達成感は何とも言えません」と、PCの魅力語る榎山さんは警察官に

なった平成十四年にこの競技を始めました。昨年の秋田国体三十一位からの大躍進。「意志が強く、いざというとき信頼できる選手」と所属する岩手県警察本部拳銃特別訓練部の佐々木正広監督も全幅の信頼を寄せます。母校葛巻高校の郷土芸能部の朗報に「おめでとうございます。ライフルも神楽も精神面の強さを求めるのは同じ」と、国体準チャンピオンは後輩の活躍も喜びました。

関係者の喜びの声

いつかは全国へ連れて行きたいという信念を持って12年間続けてきました。悔し涙も何度かあった中で、厳しい練習に耐えた子どもたちは我が子同然。思いがやっとなかったです。全国のトップを目指します。

葛巻神楽保存会
遠藤勝広会長

創部当時から12年間
妻のトミエさんと夫婦
で指導



顧問
宮野純子先生

高屋敷梢先生とともに
郷土芸能部顧問



「頑張れば報われる」ことが証明できました。11人の部員は生徒会も、ドイツの研修も、勉強もすべてこなし、どこに出ても恥ずかしくない立派な生徒たちです。岩手県の代表として出場できることは葛巻高校の誇りです。

11人と少ない人数でしたが、チームはまとまっています。毎日2時間の部活動のほか週2回、神楽保存会の皆さんの指導をいただいたほか町のイベントに参加する機会も与えていただき自信ができました。全国制覇の夢は後輩たちに託します。

部長
大石悠佳さん

11人の部員のリーダー。現在3年生。



OB
上山 稔さん

平成17年度副部長。
週1回指導に当たる



自分たちは審査員特別奨励賞をいただきました。後輩たちが「文化祭の甲子園とも言われる全国高文祭」に参加できるのはうれしいの一言。今後も挑戦し続けてほしいし、自分もできる限り練習に顔を出して力になりたいですね。